

管理運営に係る取り組みの進捗状況等について

資料3-1

委員意見と今後予定・所見

		進捗状況・所見 (R7年度末)	課題点等	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)	第2回会議意見	今後予定・所見 ※来年までに協議すべき課題追記
①	現存する歴史的建造物の維持管理計画（公園課）	石垣調査中		石垣カルテ作成・測量調査	石垣カルテ作成・測量調査		・引続き石垣調査や石垣カルテの作成を行い、建造物の維持管理計画を作成していく ・継続事業となるため、資料5で詳細説明
		建築物：市内部による耐震予備診断及び災害時の対処方針を整理	建築物：耐震診断を行い維持管理計画を作成する必要がある			【建築物耐震診断のほか追加調査の検討】 ・日常点検で把握した雨漏り、蟻害などの記録も行う必要がある	・他都市情報を収集中
②	乾櫓などの公開（観光課）	・乾櫓の公開を実施	—	実施	公開検討・実施	【耐震補強までの間の限定的な公開について】 ・耐震補強までの間は限定的な公開もあり得る ・今後、耐震補強までのスケジュールを示しておくこと	・令和8年度においても、多門櫓、千貫櫓の春期、秋期の公開を継続。乾櫓については夏期の公開を予定。 ・継続事業となるため、資料5で詳細説明
③	旧第四師団司令部庁舎の文化財登録（公園課）	・登録有形文化財登録にむけた事前準備	・登録有形文化財登録にあたって必要な手続き、資料等の整理が必要。	検討・申請		【登録申請までのスケジュールについて】 ・資料収集や事前相談を含め、令和8年10月の申請から逆算した工程管理を行うこと	・R8年10月申請を目標に、登録申請に必要な手続きや資料等を整理し、準備を進める。
④	植栽管理計画（緑化課）	・樹木（高木）本数調査を実施 ・令和7年11月に、市域全域の樹木管理の基本的な考え方を示す「大阪市街路樹・公園樹マネジメント戦略」を策定	・現状樹木の樹勢や危険性なども含めた健全度把握が必要 ・文化財に対する樹木の影響の把握が必要	調査・検討	検討・策定	【専門家の意見を聴取しながら複合的な視点での検討が必要】	・R8年度の健全度調査及び樹木台帳・位置図作成
⑤	イベントルール（観光課）	・保存管理計画をふまえた一定のルールを整理して運用中。	—	運用・更新		—	・今後もルールを継続しつつ、適宜見直しながら運用していく。
⑥	ロードトレイン・エレクトリックカー等の景観への配慮（観光課）	・エレクトリックカーについては景観型配慮車両を導入済。 ・豊国神社から極楽橋間のルートは運休（定期便は停止） ・大阪メトロからの要請を受けオンデマンドバスの乗り入れを検討中。観光利用ニーズと効果の把握のため実証実験について検討中。	・多数来園者の往来に対する安全確保と運行リスクについて、大阪メトロにおいて検討中 ・史跡景観への配慮	景観配慮型車両検討・導入		—	・今後示される大阪メトロの運行計画を受けて、来園者の安全確保を最優先に、史跡景観への配慮等引き続き検討する。
				自動運転車等の新形態モビリティの導入も含めた検討			
⑦	城内の回遊性向上（観光課）	・大阪城HPに史跡めぐりモデルコースのコンテンツ等を掲載。 ・園内のバリアフリールートや最寄り駅から天守閣までのルートや距離・高低差の情報や、休憩スポットの情報等、利用者に目線の情報を幅広く盛り込んだバリアフリーマップを園内に配架し、大阪城HPに掲載。	—	発信		—	・取り組みを継続し適宜改善を図る ・石垣館の一層の認知度向上、来館促進に取り組む
⑧	災害時に必要となる情報の周知（観光課）	・JR大阪城公園駅前の公園エントランス部に「多機能型観光案内表示板」を設置。蓄電機能とWi-Fiが備わっており災害時の電源として利用可。	—	—	—	【事業スキームについて】 ・設置の条件に関わる、事業スキームの説明が必要。	・大阪市では令和4年～令和6年に市内全域で、観光案内表示板機能強化事業を行い、災害時の情報発信等の強化を行った。 ・大阪城公園では、園内3箇所に観光案内表示板を新設・更新した。（内1箇所は多機能型を新設）。 ・観光案内表示板には大阪防災アプリ、災害情報提供アプリのQRコードが掲載されている。 ・また、QRコードが掲載されたリーフレットを周辺ホテルに配布している。